福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福知山城天守閣管理運営事業							事業コード	020108650303		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展			
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承							施策コード	431	
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室					所属長	大槻 陽平			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	08文化振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	72・73	頁
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山城天守閣条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	佐藤太清記念美術館管理運営事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市の象徴であり、観光スポットとしても重要なニーズが高い施設である。「福知山城から広がる福がいっぱい福知山」として観光ビジョンが決定し、必要性もますます高くなっている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 再建から令和8年度で40年を迎えるが、施設の老朽化が課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示し、市民や本市来訪者へ普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する。福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。 本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」天守閣建物の適正な管理・運営を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ■施設・設備の維持・管理。特別展・企画展の企画・開催 ■受付・案内業務 ■歴史資料・郷土資料の収集と保存・保管、研究 ■企画展・体験会等普及活動の実施 ■福知山城関連の観光イベント、メディア等の取材協力

対象者	市民、入館者、観光入込客数（全国を対象）、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	㈱福知山市シルバー人材センター					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	10	資料借用謝礼	負担金補助及び交付金	40	全国城郭管理者協議会会費、研修参加費
旅費	58	研修旅費			
需用費	3,249	光熱水費、印刷製本費、消耗品費、修繕料			
役務費	698	郵送料、電子決済手数料、電話代、共済基金分担金、感謝状筆耕料			
委託料	2,201	受付業務			
使用料及び賃借料	124	複写機使用料、AED賃貸借			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	8,995	6,383	8,119	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	8,995	6,383	8,119	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	1,619	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	8,995	6,383	6,500	
決算情報	① 流充用額	△ 505	14		
	② 配当予算	8,490	6,397		
	③ 執行額	8,417	6,380		
	④ 執行率	99.1%	99.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.17 / 5.06	0.25 / 5.00	/	/
	② 概算人件費	15,528	16,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		23,945	22,380		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	福知山城天守閣入館料	総務使用料	3,936	7	
	御城印	物品売払収入	2,444	32	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	59,711	59,438	56,909	53,803		
	入館者数	目標値		60,000	50,000	60,000	60,000	60,000	
		達成度	%	100%	119%	95%	90%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	249	308	307	307		
	開館日数	当初見込		365	308	307	300	300	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	常設・企画展示の工夫と周知								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	来館者数がコロナ禍前の水準以上に回復し、大河ドラマ時に来館できなかった市民や訪日外国人の来客が増えている。 再建から40年を迎える中、建物や石垣の老朽化等が課題である。建物は城郭建築、石垣は文化財のため、改修工事が必要な場合は専門家の調査を要するため、計画的な施設管理が必要となる。
現状の課題に対する改善策	○来館者数維持・増加のため、一時の話題性のみでなく、施設の特色を活かした企画運営及び周知活動の実施を検討する。 ○施設内での企画展実施方法について検討する。 ○施設改修については、高優先度の箇所から実施する一方で、長期的展望及び施設運営面を含めて検討する必要がある。 ○案内看板や柵に破損しているところがあるため、順次修復する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	丹波生活衣館管理運営事業						事業コード	020108650309		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展			
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431	
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室				所属長	大槻 陽平			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	08文化振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	73 頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市丹波生活衣館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	―									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ■丹波生活衣を中心とする文化資料の収集及び保存、展示会の開催による文化資料の展示及び供覧、調査及び研究。 ■市民と協働し、自主事業や寄贈資料の整理作業を実施。また、こども藍染め教室や着付け教室など自主事業を実施。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ■寄贈物のデータ整理が追い付いていないため、今後随時整理していく必要がある。 ■施設の老朽化やどのような施設かが分かりづらいという声がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 丹波生活衣館の歴史と特色を紹介し、織物体験や製作物の物品販売を通じて、来館者に地域の伝統文化を継承し、学びを提供していく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ■施設職員と丹波生活衣同好会が協力して企画展等を企画、運営していく。 ■丹波生活衣を中心とする文化資料の収集及び保存、展示会の開催による文化資料の展示及び調査及び研究をしていく。 ■市民と協働し、自主事業や寄贈資料の整理作業を実施。

対象者	市民、入館者、観光入込客数（全国を対象）、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	㈱福知山市シルバー人材センター、株式会社昭和リーブス、ライズビルサービス、つじもと工芸社					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	68	講師謝礼、販売品製作謝礼			
需用費	1,518	光熱水費、消耗品費、印刷製本費、修繕料			
役務費	95	電話代、共済保険料			
委託料	423	受付業務、殺虫業務、ワックス清掃、看板製作			
使用料及び賃借料	1,431	土地賃借料、複写機使用料、AED賃貸借			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,157	2,993	3,216	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,157	2,993	3,216	
予算財源内訳	① 一般財源	3,543	2,364	2,669	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	614	629	547	
決算情報	① 流充用額	0	542		
	② 配当予算	4,157	3,535		
	③ 執行額	4,117	3,535		
	④ 執行率	99.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.14 / 3.12	0.25 / 2.55	/	/
	② 概算人件費	9,856	9,140		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		13,973	12,675		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	丹波生活衣館使用料	総務使用料	135	7	
	丹波生活衣館加工品等	物品売払収入	682	32	
	丹波生活衣館講座材料費	雑入	62	46	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	5,596	6,373	7,343	7,365		
	入館者数	目標値		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
		達成度	%	56%	64%	73%	74%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	21	24	19	21		
	展示会、講座、教室等主催事業　開催回数	当初見込		25	25	25	25	25	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	年間とおして様々な体験教室、特別展を実施することで入館者数の増加につなげる。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	■どのような人がどのような目的で利用しているか判断するためのデータがなく、どのような施設かが分かりづらいという声がある。 ■今後の方向性が明確に定まっていない。 ■施設の老朽化が進行している。
現状の課題に対する改善策	■来場者にアンケートを取り、ニーズを把握することによって主催事業（体験会や特別展）に反映させる。 ■施設内容をイメージしやすく、観光客が入りやすいようにするため、看板設置等を行う。 ■丹波生活衣館単館だけでなく、近隣の文化施設等と連携した事業展開を行うことで、効率性や有効性を高める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	治水記念館管理運営事業					事業コード	020108650311		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展			
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承				施策コード	431		
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室			所属長	大槻 陽平			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	08文化振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料 74 頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針		R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市治水記念館条例								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 治水や水害に関わる歴史に関する展示を行い、来館者には館の職員や柳菱クラブのメンバーなどによる説明により水害に見舞われてきた過去について学習していただいている。水害に見舞われた町家は歴史的建造物であり、水害と水防の歴史がわかる町家の構造を見学し、体験することで防災意識を高めていただいている。令和6年度防災資産に認定。入館料は無料。月曜日、火曜日休館。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 治水の歴史を後世に伝えていくために体験談などを説明できる人員の確保。柳菱クラブメンバーは高齢となり、水害の記憶や体験談を次世代へつなぐことが課題となっている。防災資産に認定されるなど広報される機会は増えているものの、今後来館者数の増加への継続的な対応が課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市と治水や水害に関わる歴史に関する展示を実際に水害に見舞われてきた町屋を用いて行い、治水の歴史を地域に根差して後世に伝えていく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ●施設の管理、受付案内業務 ●企画展・関連イベントの企画・開催・運営 ●明治初期に建てられた福知山の典型的な町家建物であり、歴史的建造物として保存活用する。 ●防災センターと連携して、水害や水防の歴史・防災情報を紹介することにより市民の防災意識の向上を図る。

対象者	市民、入館者、観光入込客数（全国を対象）、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	柳菱クラブ					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	20	講師謝礼			
需用費	411	光熱水費、消耗品費、印刷製本費、修繕料			
役務費	119	電話代、共済保険料			
委託料	1,129	案内業務			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,038	1,706	1,811	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		2,038	1,706	1,811	
予算財源内訳	① 一般財源	2,038	1,706	1,811	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	466	△ 27		
	② 配当予算	2,504	1,679		
	③ 執行額	2,490	1,679		
	④ 執行率	99.4%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.17 / 2.10	0.15 / 2.25	/	/
	② 概算人件費	7,240	7,500		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		9,730	9,179		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2,457	2,056	3,666	2,809		
	入館者数	目標値		3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
		達成度	%	74%	62%	111%	85%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	事業	6	6	7	9		
	企画展の開催	当初見込		9	9	9	9	9	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	来館者を対象に町家の雰囲気に合った昔からの風習などを次世代へつなげる企画展を行う。市内の小・中学生を対象に身近なところから始められる防災に関する学習の機会の創出。水害の経験を語り継ぐことにより来館者の防災意識の向上。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	治水の歴史を後世に伝えていくために体験談などを説明できる人員の確保が必要である。柳菱クラブメンバーは高齢となり次世代へつなぐことが課題となっている。防災資産に認定されるなど広報される機会は若干増えているものの、来館者数の増加が課題となっている。 施設は老朽化しており、来館者に快適に過ごしていただくための設備は整っていないため、熱中症対策を含めた施設修繕が必須である。市民全体の防災意識を向上させるためにも防災学習のきっかけとなるような企画を開催し来館していただく必要がある。
現状の課題に対する改善策	●治水記念館をより広く認知してもらうために、企画展などの広報を積極的に行い来館者を呼び込む。 ●語り部の体験談をデジタルデータで保存しており、今後来館者に視聴してもらうなど活用する。 ●近隣の文化施設等と連携した事業展開を行うことで来館者数を増やし、施設を有効に活用する取組を進める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	芦田均記念館管理運営事業							事業コード	020108650316	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展		
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431	
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室					所属長	大槻 陽平		
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	08文化振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	74 頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市芦田均記念館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市初の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相に関する資料の管理及び展示を行う。地域住民の文化活動の場として多目的ホールや和室の貸室を行っている。芦田均元首相のピアノを活用しストリートピアノを行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設内の芦田均生家が老朽化している。指定管理者による施設運営であり地元住民を中心とする組織である芦田均元首相顕彰会が管理しているが、来館者の増加に向けた取組の少なさが課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市市内初の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相を顕彰し関連する資料を保存及び活用することで、地域文化の向上に寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ●施設・設備の維持管理　●受付案内、施設使用許可申請業務 ●芦田均関連資料の収集・整理・保管・展示　●企画展・関連イベントの企画・開催・展示 ●資料展示により、福知山市出身である芦田均元首相を顕彰するため、入館料を無料としている。

対象者	市民、入館者、観光入込客数（全国を対象）、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☑ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	芦田均元首相顕彰会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	44	共済基金分担金			
委託料	4,160	指定管理料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,197	4,205	4,266	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,197	4,205	4,266	
予算財源内訳	① 一般財源	4,142	4,150	710	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	55	55	3,556	
決算情報	① 流充用額	11	△ 1		
	② 配当予算	4,208	4,204		
	③ 執行額	4,203	4,204		
	④ 執行率	99.9%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.16 / 0.05	0.10 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	1,420	1,220		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,623	5,424		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	芦田均記念館使用料	総務管理使用料	14	7	
	電柱占用料（芦田均記念館）	総務管理使用料	2	7	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2,887	3,395	2,600	2,975		
	入館者数	目標値		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
		達成度	%	82%	97%	74%	85%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	6	7	7	7		
	イベント開催回数	当初見込		5	10	10	10	10	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	著名な有識者を招いての講演会をメイン事業として開催。多様なテーマの自主事業を実施。地元住民による作品展の開催などを行う。帰郷者が多く訪れる機会となるよう正月三が日に臨時開館する等の工夫を行う。SNSを活用し広報を強化する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	●指定管理者による著名な有識者を招いての講演会が記念館自主事業の主たる事業となっており、他にも地元住民による作品展を開催するなど、多様なテーマの自主事業を実施している。 ●指定管理者による適切な施設運営が行われている。 ●施設内の芦田均生家が老朽化しており、空調機がないため、夏季期間の利用が難しい。 ●SNSを活用した広報が顕彰会の特定の会員に限られており発信情報が少ないため、顕彰会に積極的に情報発信してもらう必要がある。
現状の課題に対する改善策	●芦田均元首相に関する資料の紹介、発信方法等を指定管理者とともに検討する。 ●施設の運営について、指定管理者制度の見直し等も含めて検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業						事業コード	100501202302	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展		
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承				施策コード	431		
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室				所属長	大槻 陽平		
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料 203 頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針		R8現在の状況	廃止/休止
根拠法令等	文化財保護法								
事業区分	☑ 法定受託事務	☐ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）				
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 開発予定地内に古墳が所在
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 埋蔵文化財保護と開発行為等との調整
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・民間開発事業により川上5号墳、川上南4号墳、宝蔵山6号墳が消滅することから発掘調査を実施する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・川上5号墳、川上南4号墳、宝蔵山6号墳を対象に人力による掘削により内容の確認を行うとともに、写真撮影と実測作業を適宜行う。 ・記録保存のため調査報告書を刊行する。

対象者	埋蔵文化財	対象者数	2	単位あたりコスト	8,891.0
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	（社）京都府シルバー人材センター連合会、（株）アクセス京都営業所				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	613	消耗品費、燃料費、印刷製本費			
役務費	58	ごみ廃棄手数料、汲み取り手数料			
委託料	11,157	現地作業員派遣委託、測量・空撮図化委託			
使用料及び賃借料	1,514	レンタカー、仮設トイレ、スーパーハウスほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	896	11,601	0	0
	② 補正予算	0	3,377	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	896	14,978	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	896	14,978	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	896	14,978		
	③ 執行額	621	13,342		
	④ 執行率	69.3%	89.1%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.46 / 0.05	0.45 / 0.30	/	/
	② 概算人件費	3,820	4,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,441	17,782		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	埋蔵文化財発掘調査事業	教育費受託事業収入	13,342	48	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	―	1	―	2		
	発掘調査実施件数	目標値		―	1	―	2	―	
		達成度	%	―	100%	―	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	100	―	100		
	発掘調査進捗率	当初見込		―	100	―	100	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	発掘調査の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	―	―	1	2		
	調査報告書の刊行	目標値		―	―	1	2	―	
		達成度	%	―	―	100%	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	―	100	100		
	調査報告書の作成進捗率	当初見込		―	―	100	100	―	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	報告書の作成								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	発掘調査の実施及び記録保存のための報告書刊行と後世に伝える取組ができている。開発行為に伴う発掘調査であり、原因者の理解が不可欠である。
現状の課題に対する改善策	発掘調査前の原因者との事前協議において適切な説明と対応を引き続き継続する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	歴史公文書等公開活用検討事業					事業コード	100501202503		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展			
	施 策 名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承				施策コード	431		
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室			所属長	大槻 陽平			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料 203 頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針	R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	公文書等の管理に関する法律								
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）								
関連事業	—								

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 公文書管理法では、現用公文書の管理に加え、歴史公文書（非現用公文書）等の適正な保存・利用についても規定されているため、従来の文書管理規程等で行われていた現用公文書管理に加えて、歴史公文書等の保存・利用等についても一体的に考える必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・歴史公文書の選別収集方法と保管・閲覧体制の構築
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・歴史公文書を保存・公開活用するための規程とシステムづくり
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・歴史公文書等を対象に、選別収集ガイドラインの検討及び保管・閲覧体制の検討

対象者	歴史公文書	対象者数	－	単位あたりコスト	#VALUE!
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	808	調査員謝礼			
旅費	151	調査員費用弁償			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		0	894	1,309	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		0	894	1,309	
予算財源内訳	① 一般財源		0	894	1,309	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	65		
	② 配当予算		0	959		
	③ 執行額		0	959		
	④ 執行率			100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.00 / 0.00	0.25 / 0.20	/	/
	② 概算人件費		0	2,560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			0	3,519		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	―	―	―	1		
	歴史公文書の公開	目標値		―	―	―	1	1	
		達成度	%	―	―	―	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	―	―	50		
	歴史公文書の保管・管理・利用(目録の公開、閲覧等)についての検討	当初見込		―	―	―	50	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公文書から歴史公文書への選別収集についてのシステム作り								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	公文書には市の歴史を物語る資料が多数含まれており、できるだけ公開活用をしていく必要がある。そのためには選別収集ガイドラインの策定による歴史公文書としての位置づけと保存・公開活用のルール規程づくりが必要であることが課題としてあげられる。
現状の課題に対する改善策	専門的経験者による選別収集ガイドラインの策定及び保管・管理・利用に係る規程等の検討

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	市内遺跡発掘調査事業						事業コード	100501202504		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展			
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承				施策コード	431			
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室				所属長	大槻 陽平			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	203・204 頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R8現在の状況	廃止/休止
根拠法令等	文化財保護法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・近年福知山市内で宅地造成や住宅建設が増加している。 ・令和5年度に発掘調査を実施した川上南古墳群から鉄製品12点が出土した。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・急な開発に対応する必要性が生じた際の実施体制 ・鉄製品は当地域の歴史の様相を示す貴重な遺物であり、放置すれば錆化、腐食が進み失われる危険がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・範囲・内容等詳細不明な遺跡の実態調査のため測量及び試掘等を行い、調査範囲周辺での開発計画に対応する遺跡の保存保護資料を得る。 ・恒久的な保存を講じ後世に伝えるために科学的な処理を施す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・六人部地区に所在する上松遺跡の範囲や内容を確認するため発掘調査を行う。 ・調査箇所を設定し、人力にて掘削を行い、遺構や遺物の有無を確認するとともに、写真や測量などの記録を作成する。 ・調査成果については報告書を作成し、今後の資料として活用する。 ・鉄製品の錆化、腐食を防ぐため保存処理を行う。

対象者	埋蔵文化財	対象者数	1	単位あたりコスト	6,674.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(社)京都府シルバー人材センター連合会、(株)吉田生物研究所、(株)BLUE WORLD					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	139	消耗品費、燃料費、印刷製本費			
役務費	14	し尿汲み取り手数料			
委託料	1,502	現地作業員派遣業務、鉄製品保存処理、駐車場真砂土復旧			
使用料及び賃借料	178	調査用レンタカー賃借、仮設トイレ賃借			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	0	2,256	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	0	2,256	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	564	0	
	② 国支出金	0	1,128	0	
	③ 府支出金	0	564	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 76		
	② 配当予算	0	2,180		
	③ 執行額	0	1,834		
	④ 執行率		84.1%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.00 / 0.00	0.50 / 0.30	/	/
	② 概算人件費	0	4,840		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	6,674		

主な利用特財 (R7年度実績値)

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
市内遺跡発掘調査事業	教育費国庫補助金	1,000	19	
市内遺跡発掘調査事業	教育費府補助金	500	27	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	―	―	―	1		
	・調査報告書の刊行	目標値		―	―	―	1	―	
		達成度	%	―	―	―	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	―	―	―	1		
	発掘調査による遺跡内容の確認	当初見込		―	―	―	1	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	上松遺跡における発掘調査の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	点	―	―	―	12		
	・保存処理終了点数	目標値		―	―	―	12	―	
		達成度	%	―	―	―	100%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	―	―	―	100		
	保存処理の実施率	当初見込		―	―	―	100	―	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	川上南古墳群出土鉄製品の保存処理								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・遺跡内容を確認するための発掘調査を実施することは今後の開発対応における基礎資料となるものである。課題として市内各所に所在する各遺跡の内容を引き続き把握し、開発に対応していく必要がある。 ・鉄製品の保存処理によって後世に貴重な資料を伝えていくことができるため、郷土学習の資料として活用していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	・遺跡内容把握の発掘調査の継続的実施 ・保存処理後における展示

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	夜久野町化石・郷土資料館運営事業							事業コード	100501640105	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展		
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承					施策コード	431		
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室					所属長	大槻 陽平		
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	208 頁
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市夜久野町化石・郷土資料館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	農匠の郷やくの施設管理運営事業 文化財保護関連事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 夜久野町の歴史と文化を伝えるため夜久野町で収集した資料を主として展示を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 収集した資料を収蔵しているだけでなく展示物の入れ替えを行うことにより資料の活用を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・資料の現地調査を行い必要であれば収集を行う。 ・展示資料について市民の理解を深めるため体験学習会を行う。 ・展示資料について来館者に説明を行う。

対象者	市民、入館者、観光入込客数（全国を対象）、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	78	燃料費、光熱水費			
役務費	58	電話代、建物共済			
負担金補助及び交付金	105	農匠の郷やくの管理負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	370	261	261	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	370	261	261	
予算財源内訳	① 一般財源	324	215	215	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	46	46	46	
決算情報	① 流充用額	0	△ 7		
	② 配当予算	370	254		
	③ 執行額	330	242		
	④ 執行率	89.2%	95.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.36 / 1.05	0.60 / 1.20	/	/
	② 概算人件費	5,820	8,160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,150	8,402		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
夜久野町化石・郷土資料館使用料	教育使用料	13	10	
電柱占用料（夜久野町化石・郷土資料館）	教育使用料	2	10	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	35	20	20	20		
	体験学習の参加者数	目標値		20	20	20	20	20	
		達成度	%	175%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1	1	1	1		
	体験学習	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民に対する体験学習会の周知								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	京都府立大学の協力により館内展示の一部である末窯跡群の展示リニューアルを行い、最新の調査成果を展示している。引き続き、最新の調査成果を継続的に展示することが必要である。
現状の課題に対する改善策	最新の調査成果を展示するため、引き続き京都府立大学などの高等教育機関と連携し調査研究を進める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	日本の鬼の交流博物館運営事業						事業コード	100501640106		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展				
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承					施策コード	431		
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室			所属長	大槻 陽平				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	208・209 頁
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市日本の鬼の交流博物館条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	文化財保護関連事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 大江山に伝わる鬼伝説を展示するとともに日本の鬼文化に関する資料の収集と展示を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 収集した資料を収蔵しているだけでなく展示物の入れ替えを行うことにより資料の活用を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・資料の現地調査を行い必要であれば収集を行う。 ・展示資料について市民の理解を深めるため体験学習会を行う。 ・展示資料について来館者に説明を行う。 ・鬼や大江山に関する情報発信を行う。 ・鬼や大江山に関する問い合わせに対するレファレンスを行う。

対象者	市民、入館者、観光入込客数（全国を対象）、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	3,985	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費			
役務費	155	インターネット回線使用料、電話料、建物共済ほか			
使用料及び賃借料	191	複写機、AED			
備品購入費	9	電話機			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	5,810	4,672	5,419	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		5,810	4,672	5,419	
予算財源内訳	① 一般財源	2,914	1,776	2,523	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	2,896	2,896	2,896	
決算情報	① 流充用額	539	△ 331		
	② 配当予算	6,349	4,341		
	③ 執行額	6,349	4,341		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.47 / 3.05	0.55 / 3.20	/	/
	② 概算人件費	12,300	13,360		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		18,649	17,701		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
日本の鬼の交流博物館使用料	教育使用料	2,419	10	
文化財関係図録、図書	物品売払収入	155	32	
特製アクリルスタンド	物品売払収入	18	32	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	10,722	10,158	10,539	9,721		
	入館者数	目標値		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
		達成度	%	107%	102%	105%	97%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	4	3	3	3		
	特別展の回数	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民に対する特別展の周知								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・福知山市の地域資産である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。 ・鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、観光や民俗学に関わる冊子等の取材、資料の提供に関する問い合わせも多く、福知山市の文化施設としてPR効果は大きい。 ・開館30年を超え、施設のメンテナンスが欠かせない状況である。
現状の課題に対する改善策	施設の長寿命化を図るため、適宜修繕を行う必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	文化財保護関連事業						事業コード	100501640139		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展				
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承					施策コード	431		
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室			所属長	大槻 陽平				
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	209 頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市文化振興基本方針			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市文化財保護に関する条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	日本の鬼の交流博物館運営事業 夜久野町化石・郷土資料館運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 文化財とは市の歴史や文化を物語る貴重な財産であり市内各所に所在する。この貴重な財産を後世に伝え残すことが責務である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 文化財保護意識の醸成
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市内の文化財を未来へとつないでいくため文化財の保護と啓発を推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・文化財の調査と調査結果に基づく文化財の指定等 ・文化財保護の醸成を目的とした啓発活動(講座の開催、展示、説明看板の設置、資料に関するレファレンスなど)

対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（有）七彩プラスチック、（有）チームワーク、（株）京田クリエーション、（宗）島田神社ほか12件				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	144	審議会委員報酬	備品購入費	300	展示備品
旅費	42	審議会委員費用弁償、職員普通旅費	負担金補助及び交付金	1,800	文化財保全補助金
需用費	681	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費			
役務費	484	郵送料、電話代、浄化槽法定点検、筆耕料、建物共済			
委託料	559	文化財説明看板作成設置、バス運転委託、展示委託			
使用料及び賃借料	231	複写機、看板賃借			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,547	3,941	4,857	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	1,547	3,941	4,857	
予算財源内訳	① 一般財源	1,547	3,935	4,851	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	6	6	
決算情報	① 流充用額	△ 29	349		
	② 配当予算	1,518	4,290		
	③ 執行額	1,290	4,242		
	④ 執行率	85.0%	98.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.57 / 0.20	0.95 / 0.80	/	/
	② 概算人件費	5,120	9,840		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,410	14,082		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	廃校電柱類設置貸付収入（文化・スポーツ振興室）	財産貸付収入	6	31	
	日本の鬼の交流博物館指定寄附金	教育費指定寄附金	300	34	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	4	11	5	3		
	文化財指定件数	目標値		1	1	1	1	1	
		達成度	%	400%	1100%	500%	300%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	―	―	4	3		
	文化財調査の回数	当初見込		―	―	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	文化財調査の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	貴重な文化財を未来へ伝えるため、文化財の指定をコンスタントに行っている。市内には未発見の資料がまだまだ残っていると考えられるため、調査が必要であるとともに、貴重な文化財を未来へ引き継ぐシステムの構築が必要である。
現状の課題に対する改善策	文化財調査を引き続き実施していくとともに、文化財の修理事業に対しては民間財団等による助成金の活用を積極的に取り入れていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	大阪・関西万博への催事等出展事業（やくの木と漆の館）							事業コード	020110202502		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展			
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431		
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所					所属長	衣川 綱志			
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	78・79	頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	—			R8現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	やくの木と漆の館事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 夜久野地域に伝わる漆掻き技術や漆製品の展示に加え、金継ぎでの文化財修復実演や、漆掻き現場とオンラインで繋いだ交流などを地域住民の力で実施する。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 地域住民も丹波漆についての理解が乏しいことから、地域住民も万博への出展に関わることで地域の伝統文化を理解する機会とする。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本市の伝統文化である「丹波漆」の大阪・関西万博関西パビリオンへの出展を通じて、全世界に丹波漆の魅力をPRすることで漆の価値を更に高め、ECサイトの活用など新たな販売戦略に取り組み、海外からの観光客に向けた販売促進や福知山への誘客につなげる。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 大阪・関西万博への出展に向けた丹波漆のPR動画を制作し、漆製品、漆掻き道具、漆掻き後の原木の展示、漆の館職員による漆の金継ぎの実演、会場と漆掻き現地をオンラインで繋いでの漆掻きの実演を実施することで、来訪者に丹波漆と福知山市をPRし、本市への誘客につなげる。

対象者	大阪・関西万博京都パビリオン来場者	対象者数	20,000	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	個人					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	343	職員旅費ほか			
需用費	15	消耗品			
委託料	80	丹波漆PR動画制作業務委託料			
使用料及び賃借料	20	実演用什器借上げ料、高速道路通行料			
備品購入費	527	展示用ディスプレイ、出店ブース用什器ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	1,310	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	0	1,310	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	555	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	655	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	100	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 325		
	② 配当予算	0	985		
	③ 執行額	0	985		
	④ 執行率		100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	0.13 / 0.06	/	/
	② 概算人件費	0	1,208		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	2,193		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	大阪・関西万博への催事等出展事業（やくの木と漆の館）（きょうと地域連携交付金）	総務費府補助金	460	22	
	やくの木と漆の館物品	物品売払収入	17	32	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	―	―	―	-1.6		
	商品売上額増	目標値		―	―	―	10	―	
		達成度	%	―	―	―	-16%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	―	―	―	21,000		
	大阪・関西万博京都ゾーン来場者数	当初見込		―	―	―	10,000	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	―	―	―	30		
	地域住民の協力者	当初見込		―	―	―	15	―	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	6月23日から6月29日の7日間、大阪・関西万博「関西パビリオン　京都ゾーン」で伝統工芸「丹波漆」の出展を行った。 万博会場において、夜久野地域に伝わる漆掻き技術や漆製品の展示に加え、金継ぎ技術での文化財修復実演や、京都府指定無形民俗文化財である「丹波の漆掻き」の現地とのオンラインで繋いだリアルタイム交流を行い、「丹波漆」の魅力を発信した。 万博出展以降、丹波漆に関する問い合わせや、メディアへの掲載が増加した。 万博出展の企画段階から万博当日の運営まで、地域住民との協力体制のもと取組みを進めたことで、地域の伝統文化に対する地元住民の関心が高まり、万博終了後も今後の活用についてもワークショップ等を開催している。
現状の課題に対する改善策	万博出展を契機として、丹波漆のPR手法としてSNSの積極的な活用や、ECサイトでの販売も積極的に実施していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	やくの木と漆の館事業					事業コード	020110230215			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展				
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承				施策コード	431			
事業担当	所属	020900 市民生活部夜久野支所			所属長	衣川 綱志				
会計情報	款	02総務費	項	01総務管理費	目	10地域交流推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	79・80 頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	大阪・関西万博への催事等出展事業（やくの木と漆の館）、農匠の郷やくの施設管理運営事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 当地域の伝統である「丹波漆」の振興に資する施設であるが、来場者数が少なく、目標が達成できていない状況である。 様々な催事や商談会等への参加など、来場を待つだけでなくアウトリーチの取組みにより「丹波漆」の周知に向けたPRが必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 道の駅「農匠の郷やくの」の施設として、集客増を図る必要がある。 職員不足により漆器等の制作に限界がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 夜久野は古来日本でも有数の漆の産地であり、人々の暮らしを支えてきた生業は漆掻きであった。そんな夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に設置された「やくの木と漆の館」を、丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携を図りながら管理運営し、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作ることで、丹波漆の良さを伝えていく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること やくの木と漆の館の施設管理及び事業運営 ・建物、物品の維持管理 ・漆器の制作、販売 ・漆に関する資料展示、広報宣伝、漆塗体験の実施、ギャラリー展示

対象者	利用者	対象者数	1,500	単位あたりコスト	12.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	個人					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	119	教室講師謝礼	原材料費	898	原材料費
旅費	215	講師招へい旅費ほか	負担金補助及び交付金	458	日本文化財漆協会賛助会費,日本漆工協会年会費,NPO法人賛助会員費,農匠の郷やくの負担金(共益費)
需用費	1,241	電気・水道料金、消耗品、印刷製本、ガソリン代			
役務費	352	電話代、郵送料、損害保険料ほか			
委託料	40	夜久野の漆掻きPR動画制作業務委託料			
使用料及び賃借料	149	デジタル複合機賃借料、高速道路通行料ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	3,854	3,778	3,689	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	3,854	3,778	3,689	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	1,927	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,927	3,778	3,689	
決算情報	① 流充用額	0	△ 307		
	② 配当予算	3,854	3,471		
	③ 執行額	3,745	3,471		
	④ 執行率	97.2%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.18 / 2.90	0.52 / 3.84	/	/
	② 概算人件費	9,560	14,912		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		13,305	18,383		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
	やくの木と漆の館事業（新しい地方経済・生活環境創生交付金）		総務費国庫補助金		1,271		14	
	中丹の魅力体験・発信事業		総務費府委託金		213		27	
	やくの木と漆の館入館料		総務使用料		395		6	
	やくの木と漆の館物品		物品売払収入		818		32	
	やくの木と漆の館体験料		雑入		585		44	
	やくの木と漆の館塗代		雑入		187		44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1,365	1,369	1,222	1,008		
	入館者数	目標値		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
		達成度	%	91%	91%	81%	67%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	40	44	57	34		
	蒔絵・金継ぎ等教室開催	当初見込		33	33	33	33	33	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	NPO丹波漆との連携による「丹波漆」に関する発信								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	漆塗りや絵付けなど様々な体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。 また、キャッシュレス決済の導入により売り上げも着実に伸びている。 道の駅「農匠の郷やくの」の施設として、集客増を図るために更なるPRが必要である。
現状の課題に対する改善策	道の駅「農匠の郷やくの」の特徴ある施設として他の施設との連携により、全体の集客増を図るとともに、「福知山観光協会」、「海の京都、森の京都DMO」等との連携、インバウンド対策、PR戦略等を強化する。 ECサイトを活用した漆製品のPR等、新たな販売戦略にも取り組む。